

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 7 回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成 23 年 8 月 31 日 (火) 13 時 30 分 ~15 時 00 分
開 催 場 所	中部地区会館 402A 会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口座長、田島委員、白土委員、西田委員、佐藤委員、 高山委員、岡本委員、渡辺委員、岡田委員 欠席者：奥住副座長、岩田委員、大野委員、波多野委員、 事務局：健康福祉部長、健康推進課長、健康推進課主査、健康推進課員
議 題	(1)健康増進計画の素案（第 1 章～第 4 章）について (2)その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1)協議結果を踏まえ次回資料を作成する。
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめ。) (◇=座長、○=委員、●=事務局)	<p>※事務局から、会議を開催する前に資料の確認及び各資料を説明する。</p> <p>(1) 武蔵村山市健康増進計画の素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「武蔵村山市健康増進計画の素案」については策定委員会では、何か申し送り事項はあるか。</li> <li>● 策定委員会においては、P5 の図のデエダラボッチの顔を優しくする及び商標登録の関係で関係者への承認を求められたこと、P6 ポピュレーションアプローチ等のグラフが分かりにくい、P7 のイメージ図は協働参画の観点からママとパパの双方向の働きかけへ変更すること等の意見が出た。目標値については、その数が多すぎる点及び目標値設定に無理があるとの意見と、理想値とし次の改善に向けての努力するものとして目標値が高いのは良いといった意見が出た。</li> <li>◇ P6 のグラフは健康日本 21 等で多用されること、目標値は評価のしやすさから多めの方が良いことを策定委員会に説明されたい。P7 の図は、ママからの健康づくりを手始めに推進するという基本的考え方であり、双方向の働きかけではないと考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標値は、必ずしも達成しなければいけないものではなく努力すべき目標として高めの方が良いと考える。</li> <li>○ 同じ意見である。</li> <li>○ 同じ意見である。なお、デエダラボッチの絵はいらぬのではないのか。</li> </ul> </li> <li>◇ デエダラボッチは環境課題を押し下げる力として描いており必要と考える。ただ、眉毛・目を優しくするなどもある。</li> <li>○ 山車のデエダラボッチの方が怖い印象があり、この絵は良いのでは。</li> <li>● 了解した。再度検討する。</li> <li>◇ では議題「健康増進計画の素案について」を検討する。P4 働き盛り世代の健康課題 2、ヘルシースリム教室、健康運動教室、骨粗しょう症予防教室の参加者は既に決定されている地域福祉計画の目標と同様で良いか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良いと考える。</li> </ul> </li> <li>◇ 骨密度測定のターゲットを説明してほしい。</li> <li>● 定員としては 30 人×11 回なので 330 人であり、主なターゲットは早めの予防の観点から 20~40 代の女性である。</li> <li>◇ 閉経後は骨密度が落ちるためターゲットの絞り込みが必要。対象人</li> </ul>

口は約 1.5 万人で 5 年に 1 度測定すると年 3000 人となる。その場合 1 割の測定なら 300 人、2 割なら 600 人となるがいかがか。

○ デエダラ祭り等での骨密度測定は 100 人程度の参加がある。春・秋でやれるので現状の事業 300 人程度+お祭り 200 人程度とし 500 人の参加が見込めるのではないか。

● デエダラ祭りでの測定は含んでいない。

◇ 2 本立ての事業として現状 500 人からスタートして目標値を検討するのはいかがか。

● 測定事業は測定及び結果指導も実施しており、この目標値とした。

◇ では現状の 1.5 倍 420 人とする。週 1 回以上運動する人の割合はどうかか。

○ スポーツ人口の減少もあるので、現状 35.9%から目標 50%は妥当と考える。

○ 時間が作れない点もあり 50%で良い。

○ 男女別の目標を検討しては。

◇ 専業主婦などで現状値が高ければ、ママからパパへの働きかけも期待できることを考慮し、データを再検討し次回に決定する。男性の食事について「特に気にしていない人の割合」はいかがか。

○ 個人的意見であるが食事については確かに気にしていない面がある。

◇ 女性の現状値 15%と同程度はいかがか。

○ 働き盛りの男性は特に気を付けるべきと思う。

◇ では男性の目標値は 15%、女性の目標値は一部難しい方を除き 5%とする。朝食習慣は子どもは 100%としたので、大人も 100%で良いと考える。また、次の「ていねいな歯みがきをしている人の割合」は曖昧な指標であるため、「フロス・歯間ブラシの利用」に変更された。

● 了解した。

◇ P5 働き盛り世代のがん検診は、国の目標 50%という値もあるが、現状を考慮するといかにも高い印象である。国の平均的受診率 20%程度が妥当と思うがいかがか。

○ 現状から見て、胃がん、大腸がん、肺がんは 20%程度が限界だと考える。

◇ では胃がん、大腸がん、肺がんは 20%程度を目標とする。子宮がんや乳がんはいかがか。

○ クーポン券での受診は申し込みやすく、受診する気になる。

◇ ママがターゲット、他の家族への波及といった考え方を考慮し 30%程度としたい。前立腺がんは現状 1.5%だが、いかがか。

○ 私が申し込み夫に毎年受けさせている。ママからパパへの働きかけがあれば受診率は向上すると思う。

◇ では受診 PR を促進し、他のがん検診と同様に 20%とする。喫煙率、飲酒、ストレスについては国等の現状の値と比較した上での目標設定が求められるため、データを補完し次回決定することとする。

◇ P6 高齢者世代の食事について、量・回数や時間・栄養バランスの指標があるが、この中では量が最も気をつけやすいため、現状も踏まえ量は 80%、回数・時間は 50%、栄養バランスは 80%程度とするのはいかがか。

○ 個人的には食事の量や栄養バランスは気にしていないが、しいて言えば回数は気にしている。

● 子どもについて「気を付けている」関係の目標値設定では 90%とし

たこともあり、高齢者については、やや差引き 80%を見込んだ。

- ◇ 了解した。ではこの関係の指標は 80%とする。朝食 100%は妥当である。次の「BMI 適正」の目標設定理由で「BMI やせ」の移行とあるが、「BMI 肥満」も対象とするのではないか。
  - ◇ 「BMI 適正」以外の人を半減させるということで「BMI 適正」は 85%とする。P7 健康教室の新規参加者が少ないは、最も良く対応する指標「健康運動教室の新規参加率（高齢者世代）」を 1 番目に表記されたい。ターゲット等を明らかにしてほしい。
  - 健康運動教室は、運動習慣のきっかけづくりとして実施しているため、出来れば新規の方が 100%となることが望ましい。
  - ◇ 新規参加率が僅か 11.9%という状況は、事業目的から考えると問題視される。本来リピーターは 0%にすべきであり、2 年前に参加した方は良いとしても毎年連続受講は制限すべきと考える。
  - かつてリピーターの方を断った事もあるが、参加者が大きく落ち込んだ経緯もあり、参加経験を問わない形で実施している。
  - ◇ 定員としては 200 人なので、少なくとも新規の方が 100 人確保できるようにし目標値としては 50~80%程度だろうか。課として今後の参加要件をよく話し合してほしい。
  - ◇ 健康だと思える人はいかがか。
  - これは 90%で良いと思う。
  - ◇ P8 の体を動かすことを気にかけている人はいかがか。スポーツをする人と体をうごかす人は現状約 10%の差があるが。
  - 老人会でスポーツ活動があり、特にグラドゴルフは人気である。
  - ◇ では体をうごかす人は高齢者の目標値に準じ 80%とし、スポーツは再検討扱いとする。P9 の乳幼児健診関係は努力目標として 100%で良いと考える。また、各種がん検診は働き盛り世代の目標値に準ずることとする。無保険者の健康診査受診率は 35%だが説明されたい。
  - 生活保護の方に受診券を送付する形で実施しているが、実態として高齢者も多く日頃から病院にかかっている方が多いこともあり、受診率は低い状況にある。
  - ◇ 了解した。P10 の発達健診、コアラ・うさちゃん延べ参加率はいずれも不可欠であり目標 100%とする。
  - ◇ P11 のストレスの際の専門的相談先の認知は、相談するという行動を起こす以前に相談先を知っていなければ行動に移すことができないため 90%程度を見込むこととする。スマイリー延べ参加率について説明されたい。
  - 若いシングルマザー等の方を対象に実施しているが、毎回の参加は忙しいなどもあり難しい状況にある。
  - ◇ では現状の倍程度の 50%とする。
  - ◇ 今日の議論で再検討扱いとした項目は国・都等の現状値データと比較し、次回に決定するので資料を整理されたい。
  - 了解した。
- (3) その他について
- ◇ その他はあるか。
  - 次回開催日程について後日調整を取らせて頂く。
  - ◇ 以上で本日の議事はすべて終了した。これで、第 7 回武蔵村山市健康増進計画策定懇談会を終了する。

会議の公開・ 非公開の別	■公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ( )
-----------------	--

傍聴者： \_\_\_\_\_ 0人

会議録の開示・ 非開示の別	■開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____） <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____）
------------------	--

庶務担当課	健康福祉部健康推進課（内線： _____）
-------	-----------------------

（日本工業規格A列4番）